

令和元年度 にしふじのみや幼稚園学校評価

自己評価実施日 令和2年2月7日

学校評価委員評価実施日 令和2年3月6日

学校法人土橋学園 にしふじのみや幼稚園園長 矢部理恵子

学校法人土橋学園 にしふじのみや幼稚園学校関係者評価委員委員長 吉澤利一

1 幼稚園の教育目標

「独り立ちする子」をめざして 「一人一人が輝く子ども」

1 思いやる心 2 丈夫な体 3 考える力

2 重点目標

- ・幼稚園ならではの体験・たくさんのお友達や先生と関わる事によって自立のための基礎を育てま
- ・「生きる力」「愛」を掲げ、社会性のある子を目指します。
- ・「知育」「徳育」「体育」をバランスよく組み合わせた教育を行っていきます。
- ・研修主題*全身を使った音楽活動(ボディーパーカッション)を通して豊かに自己を表現する子供の育成*

3 評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

- ※結果の表示方法
- A 十分に成果があった
 - B 成果があった
 - C 少し成果があった
 - D 成果がなかった

		自己評価		学校関係者評価委員会	
評価項目	評価点	反省と改善点		評価点	意見
1 保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育要領に関して、研修会の時は行ったが自分自身での新教育要領について学びを深めなかった。 ・子供が安全に過ごせるようにもっと環境を整えていきたい。 ・互いの保育を見せ合える時間をもっと作り、切磋琢磨することでスキルアップ出来ると思う。 ・久しぶりに年少組を担当し昨年までの年少組担当の先生にも情報を聞き保育に生かすことができた。 ・計画を立てる時点で疑問点や指導方法などたくさんの先生方からアドバイスを頂いた。 ・報告、連絡、相談はしっかりと行っていききたい。 ・先輩の先生方から学ばせていただくことが多く自分でもっと様々な環境構成を作りたい。 		A	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や先生方の保育に関するスキルアップ等先生方全員の向上心が見受けられます。 ・これからも、今まで同様に子供たちに質の高い保育を提供していただきたいです。 ・将来を担う子供たちに向けて、幼児教育を頑張っしてほしいです。
2 保育の在り方 幼児の対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分からもっと園の子どもの様子について保護者に尋ね把握した方がよかったと思うことが多くあったので気を付けていきたい。 ・日々の保育終了後に全職員で配慮の必要な子どもに対しての対応を話し合い接してきた。 ・月齢によって差が多い年少児、子育て支援として満3歳児も多くなり、適切な指導をもっと学びたい。 ・子どもが登園してきた際に自分のクラスでなくても変化や気になる事があれば必ず保護者に確認を取り子どもの健康と安全をしっかりと確保していきたい。 		A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で園児一人一人に気をかけて声をかけている姿勢が見られます。 ・様々な個性が集まる幼稚園で保護者との連携、教員同士の情報共有が取れていると思う。 ・それぞれの個性の違う子供たちへの配慮が丁寧。

		<p>・職員同士の話し合いなどで、自分の考えを広めることができました。</p>	
3	教師としての 資質・能力 良識・適正	<p>A</p> <p>・もっと周囲に的確に声掛けをし、仕事をしやすくすればよかったと感じた。</p> <p>・大きな行事を体験する中で、一人ひとり個人差があるので丁寧な指導を心掛け子ども達とともに成長することが出来ていた。</p> <p>・朝、夕方の預かり保育がはじまり、出勤時などリズムが作れるまで少しバタバタしてしまうことがあった。</p> <p>・今年は東京オリンピックなど日本にとって大きな動きがあるのでアンテナを高くして子ども達に伝えていきたい。</p> <p>・研修会の案内が職員間で回って来る機会が多く、普段なかなかお話を聞くことは難しい小児科の先生の講義などに参加できて良かった。</p> <p>・一年目の時より、教員である事、幼稚園全体の一つのチームの一員であることを自覚した。</p>	<p>A</p> <p>・一人一人の先生方がそれぞれ違った思いや立場で園児を見守る姿勢が素晴らしい。</p> <p>・子ども達一人一人に対する指導の仕方や声掛け、預かり保育や園外での事、色々な事にきめ細やかに目を向けている。</p> <p>・それぞれの先生が、子どもたちの成長や、興味・関心を引き出す為に、いろいろ考えてくれている。</p>
4	保護者への対応	<p>A</p> <p>・保護者の思いを受け止める寛容性を身に着けたと感じる時があった。</p> <p>・日々の生活の中で、報告、連絡、相談はしっかりと出来ていた。</p> <p>・様々な家庭環境の家庭が増えていく中、子どもの様子を保護者に伝える大変さ、大切さを改めて感じた。 ・家庭の考えや思いを受け止めながら、保育をしていくのに戸惑うことがあった。</p> <p>・保護者対応として、オブラートに包みすぎてしまい伝えたいことがうまく伝わらないことがあった。伝えたいことはしっかりと伝えていきたい。</p> <p>・保護者の方からいろいろな意見を頂くことがあったが教員間で共通理解をし、対応ができたと思う。</p>	<p>A</p> <p>・いろいろな考えを持っている保護者がいる中先生方にとっては一番大切で、難しい対応だと思いますが、頑張ってください。(にしじのみや幼稚園に入園を希望してきた方たちだから大丈夫です)</p> <p>・子ども一人一人の保護者に対して、小さな出来事でも報告してくれることは保護者としてとても有難かったです。</p> <p>・まだ一日の出来事など親に話さきれない年齢の子供たちなので様子の見れない園での生活や出来事を教えて下さる先生方に感謝です。</p>
5	地域の自然や 社会との関わり	<p>B</p> <p>・未就園児の仲よし広場の回数を増やし地域の方にも園庭を解放した。来年度もヤクルトさんや近くの託児所さんにも開放していきたい。</p> <p>・クラスの担任をしていると地域の事への関心がまだまだ必要だと感じる。担任となったクラスが年長児ではなかったので今年は小学校との連携が自分自身はすくなかった。</p> <p>・運動会や発表会の練習でご近所の方から「元気な声が聞けてパワーをもらっています」等の励ましの声を頂いた。マラソン大会前の挨拶回り等好感を持っていただけた。(行事が気持ちよかったです)</p> <p>・様々な行事の担当を経験すると、改めて地域の方々の協力があるって出来ることなんだと感じた。</p>	<p>A</p> <p>・地域などの方に園行事の為に挨拶周り等丁寧に接していると思います。これからもよい関係性を継続していただきたいです。</p> <p>・幼児の行動や成長のためには地域の方たちの協力や理解が必要です。これからも関わりを大切に頑張ってください。</p> <p>・園内から子どもたちの元気な声や先生たちの声がよく聞こえます。今回園に初めて入り園全体の元気な様子が見れて素晴らしいと思った。</p>
		<p>・園外には新しい遊具を入れることで年少児や未就園児などがたくさん遊べた。園内の遊具を今年は新しいものを入れる機会があまりなかったので来年度は職員で話し合いいいと感じたものは積極的に取り入れていきたい。</p> <p>・新教育要領についての研修にもっと参加してもっと幼稚園教育の指導力を深めたい。</p> <p>・寄せ植えの経験がよい刺激となり草花にも愛情を注ぐ姿が見られた。異年齢児の子へ優しく接することに繋がった。</p>	<p>・就学に向けて園全体で園児一人一人の事を考えて下さっている事が分かります。</p>

6	研修と研究	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コアラとの関わり、市内の病院等もう少し子どもを取り巻く環境や連携がスムーズにならないものかと考えさせる時があった。・甥の幼稚園を保護者の立場で見学するなど、他の園のやり方にアンテナを少し向け情報を得ることが出来た。自分の園の素晴らしさが改めてより感じる事が出来た。 ・グリーンバンクやテトラパック等ベルマーク集めも含め自分自身も知らなかったエコ活動にも理解を深め子ども達の良き手本となれる様アンテナを張って生活していきたいと思う。 ・他園の同年齢の先生の公開保育を見て、学ぶことが多かったのもっと自分の教諭としての能力を高めたいと思った。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動（グリーンバンク、テトラパック、ベルマークの収集等）や外部（療育支援センター（こあら）、就学に向けての指導（学校教育課）、病院等）との関わりを大切にしたいという思いが伝わります。
---	-------	---	--

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・「一人一人が輝く子ども」を目標に個性を大切に保育を通し、自分からやろうとする子は達成できたと思う。 ・研修主題のポディーパーカッションを通して、教師や友達と共有し表現する充実感を味わうことにより自己を表現する意欲が育まれはじめてきた。今後も教師がいろいろな工夫や考えを取り入れて環境を構成していき、子ども達が今まで以上に達成感や満足感、充実感を感じ表現する力を豊かにしていきたい。 ・幼稚園は「初めての学校・教育をする場」であることを基本に新しい発想を取り入れ更に資質の向上に努め。保護者や近隣の方々とのコミュニケーション、そして幼少連携を通して子育ての為の関係づくりを深めていきたい。
--

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
地域との関わり	幼少連携・回覧板による情報公開・情報の収集・地域内の施設訪問をし交流を深める 地域行事への参加
自己啓発	指導計画の見直しと、報告・連絡・相談を密に保育の営みを連携しながら更に向上させたい
基本的な生活習慣	家庭、地域、幼少等、連携を密にして実践する

6 学校関係者評価委員会からのコメント

<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園全体の雰囲気明るく活気づいているのはひとえに先生方の努力の賜物だと思います。 ・にしふじのみや幼稚園の運動会を見た娘の通っている校長先生から、本当に良い幼稚園ですね、この幼稚園の卒園生で幸せですね。と言われ嬉しかった。 ・一人一人の子ども達と真摯に向き合い、職員同士で情報を共有し、それぞれの個性を伸ばし、その為に保護者や地域との連携をとることなど密に実践していることがよくわかります。 ・子どもたちが伸び伸び幼稚園で過ごせるのも、幼稚園、保護者、地域との関係性が上手くいっている証拠だと思います。また、子ども達への教育の為の研修や様々な活動（今年度は日本テトラパック株式会社からも表彰された事など）への取り組みが積極的でとても良いと感じます。 ・孫3人が9年間にわたり幼稚園にお世話になりました。小、中、高校生となり日々の行動に頑張っている姿を見たとき幼稚園時代にご指導を頂いた先生方の賜物と感謝しております。
--

・娘が幼稚園の卒園時には東日本大震災、富士宮市でも大きな地震が翌日ありその翌日が卒園式でした。今年の春も異例づくめの日々ですが、その娘も今春高校生になります。今でも「先生！」と幼稚園に行くといつも変わらぬ笑顔とパワーで迎えて下さる先生方に感謝しかありません。にしふじのみや幼稚園は私の子育ての原点、そして娘たちの原点、園児一人一人と向き合い個性を認めて伸ばして下さいました。おかげで今娘たちは伸び伸びと成長しております。これからも見守って下さい。

・市外から引っ越して来た私たち家族は家から近いという事にしふじのみや幼稚園を選びました。一園一学級、みんな同じに接してくれる、上の子が下の子の面倒をみてくれる、友達同士は思いやる心を育ててくれる。今、にしふじのみや幼稚園を卒園出来ることを本当に感謝しています。

・本日初めて園の生活を見せていただき元気で素晴らしい。先生も子供たちも自由に伸び伸びとしている。誕生会のひな祭りの説明や3月11日の東日本大震災の事など、小さな子供たちが分かるようにきちんとそしてユーモアも入れながら大切さを教えている。学校の授業の様だった。幼稚園は初めての学校という意味が分かった。

・自分自身小さい頃は引っ込み事案な子供だったが幼稚園の子どもたちは全員で歌や踊りを踊ったり、3歳の子が一人で歌を歌ったり自己主張がしっかり出来ている。人前で立つことは話すことは恥ずかしいと思うが（大人だってできない…）子どもたちに園生活の楽しさや自信をもてることを教えていることが素晴らしい。

・小学校の入学式に出席する機会があるが、幼稚園では一番大きい年長の子が小学校に入学すると一番小さい学年になる、小学校生活で萎縮しなければよいな！と思っていたが、にしふじのみや幼稚園の子ども達を見たら大丈夫だと思えた。幼稚園は進化している、時代は変わっていると感じた。幼稚園だが、教育現場に来た！と感じた。

・自己肯定感を味合わせる素晴らしい保育、教育が出来ていると感じた、日々真摯に子どもたちと向き合う先生方の思いが伝わり感心しています。

・働いている先生方本人が楽しく元気にお仕事ができるように園全体の雰囲気がサポートをしていると感じる。今の時代に合わせながら、園の教育理念に沿いながら一本筋の通った教育をしてください。

・子どもは人を見る、そして見抜く力がある。いくら理想を語っても中身に本気の心がなければ子ども達はわかります。先生が心から楽しく保育をして子どもと向き合っているのが分かる。その本気の心が見えます。これからも、頑張ってください。

・この園の子ども達は幸せだと思う、少し躓いている子どもたちと関わっているので、今園生活にも格差があるのかもしれない。幼少期、しっかり愛されていた子供は、思春期に躓いても立ち直れる。先生方からよく聞く言葉で「ママやパパにギュッとしてもらってね！」子育てにはとても素晴らしい事、そしてそれが出来ることはとても大切なことだと思います。親御さんも幼稚園も無償の愛を注いでほしい。

